

古墳や史跡を中心とした文化財



① 平重衡の首塚

一ノ谷合戦で庄高家に生け捕られた重衡が処刑され、高家は首を郷里に持ち帰り手厚く埋葬したという。蛭川の駒形神社の東隣の釈迦堂墓地にある。

② 荘小太郎頼家供養塔

荘(庄)頼家は兄玉党の嫡流庄太郎家長の嫡男で、一ノ谷合戦で討死したという。栗崎の宥勝寺に供養塔がある。



③ 宥勝寺裏埴輪窯跡

6世紀後半の埴輪窯跡(5基)が良好な状態で残る。出土した鞍形埴輪4体は歴史民俗資料館で展示している。



④ 金鑽神社古墳

古墳の上に金鑽神社が鎮座することからその名がある。5世紀前半に築造された大型円墳。直径約67m。格子目状の叩きのある円筒埴輪が出土。



⑤ 鷺山古墳

4世紀前半に築造された前方後方墳。全長60m。前方部が撥形に開く古式の形態を持つ。くびれ部から底部に孔のある壺形土器が出土。



⑥ 東富田観音塚のマツ

近世初期に本庄城主小笠原氏が赤城山麓より取り寄せ植樹した1本と伝えられる古木。